

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0150

平成31年度行政事業レビューシート(復興庁)									
事業名	道路災害復旧事業			担当部局	復興庁			作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 増田 直樹	
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	東日本大震災復興基本法 第3条 等			関係する計画、通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	公共事業				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により生じた直轄道路の被災箇所について、早期に復旧を図り、安全で円滑な道路交通を確保することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	東日本大震災の影響による道路損壊、滅失、埋没等の被災箇所について、応急復旧により早期に道路交通を確保するとともに、原則、被災前の原型復旧、工事を実施し、原型に復旧する場合は困難な場合においては、従来の効用を復旧するための必要最小限の対策工事を実施する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求		
	予算の状況	当初予算	2,850	-	-	0	0		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	3,630	1,912	241	-			
		翌年度へ繰越し	▲ 1,912	▲ 241	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		4,568	1,671	241	0	0		
	執行額		4,454	1,671	241				
執行率(%)		98%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		156%	#DIV/0!	#DIV/0!					
平成31・32年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	その他	0	0						
	計	0	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度
	東日本大震災により被災した施設を復旧することにより、災害による被害を受けた道路の機能を被災前の状態に回復	東日本大震災による被害を受けた直轄国道の復旧率【事業完了箇所数/全体事業完了箇所数】	成果実績	%	99	99	100	-	100
			目標値	%	100	100	100	-	100
			達成度	%	99	99	100	-	100
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国土交通省道路局調べ(平成31年3月)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
	災害による被災を受けた道路の復旧事業完了箇所数	活動実績							箇所
		当初見込み	箇所	368	368	368	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込		
	-	単位当たり コスト					-	-	-
			計算式	-	-	-	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	いずれの施策にも関連しないもの							
	施策	-							
	測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標	目標年度
								-	年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
					-				
				-					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
-									
新経済・財政再生計画改革工程表 2018	取組事項	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	30年度	31年度	中間目標	目標最終年度
					-			年度	-
			成果実績	%	-	-	-	-	-
	目標値		%	-	-	-	-	-	
	達成度		%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	30年度	31年度	中間目標	目標最終年度
					-			年度	-
			成果実績	%	-	-	-	-	-
	目標値		%	-	-	-	-	-	
達成度	%		-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

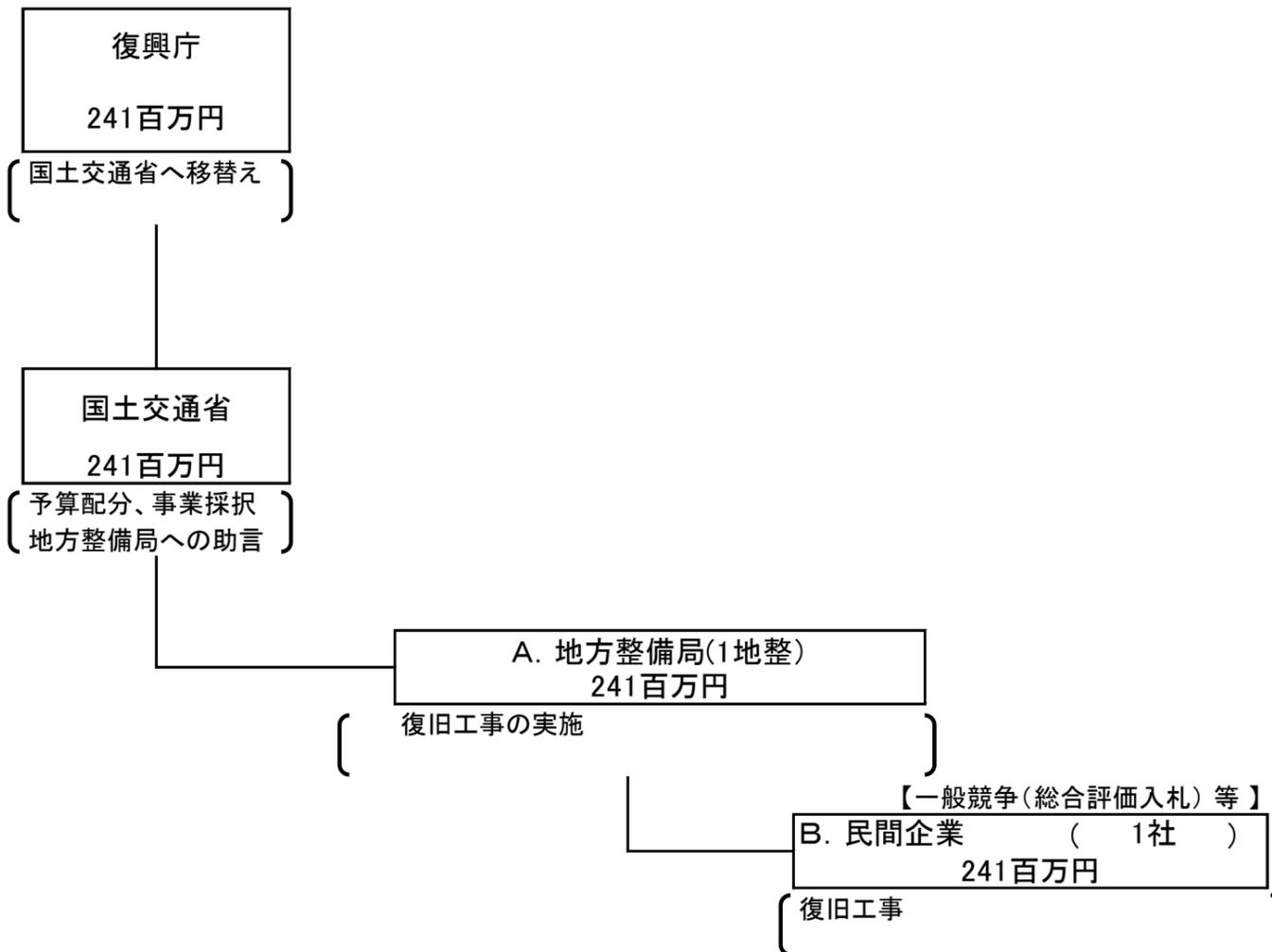
事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	災害復旧事業は民生安定のため、迅速な対応が求められるものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	法令に基づき国が直接管理する施設に係る災害復旧事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	災害により被災した道路の復旧を行うものであり、優先度の高い事業である。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は競争入札等により選定した。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	受益者との負担関係は法令に基づいている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業の実施にあたっては、より安価な材料・工法等で被災前の効用を満たすよう検討した。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	事業の実施にあたっては、あらかじめ資金計画を立て、効率的かつ適切に予算執行を行った。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行した。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	過去の施工事例や新技術を活用するなどし、復旧工法を工夫することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減などを図った。	
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	被災した道路の復旧を目標として事業を実施し、目標どおりの成果を上げた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	コスト縮減については、被災の状況・復旧工法等を精査し、効率的に実施した。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	被災状況や復旧工法、地域の復興計画等を勘案しながら着実な事業の進捗を図った。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	復旧した道路は従前の効用を発揮し、十分に活用されている。
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-
	所管府省名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	事業を計画的に実施し、目標どおりの成果を上げた。また、過去の施工事例や新技術を活用するなどし、復旧工法を工夫することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努めた。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
計画通り終了することは適当。事業の検証を行い、成果や知見の活用をはかること。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	事業終了は適当である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	事業の検証を行い、成果や知見の活用を図るよう努める。				
備考					

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	114-2	平成25年度	166
平成26年度	193	平成27年度	0195	平成28年度	0198	平成29年度	0161
平成30年度	国土交通省 (0149)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.東北地方整備局			B.東日本コンクリート(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		復旧工事の実施	241		復旧工事	241
		計	241	計		241

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北地方整備局	-	復旧工事の実施	241		-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東日本コンクリート (株)	3370001009876	復旧工事	241	一般競争契約 (総合評価)	4	90.2%	-

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 チェック

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-		-	-	-		-	-	-